

12.5 ものがたるアンケート抄—私のイチオシものがたり?—

Facebook「とある民俗学講師の補足メモ」

- ・物語（発端、展開、結末など状態変化を示す言説のまとまり）とその類似物（ウソとフィクションの違い）
- ・物語いろいろ：多様な媒体、語り手の位置、お約束、世界観とキャラクター、リアリティとファンタジー…
- ・物語の成長：模倣、引用、パロディ…
- ・物語の効用：現実から抜け出すこと≒娯楽／現実に帰ること≒教育
- ・物語の共有が産み出す社会

神話・伝説・昔話・古典 「一寸法師」「浦島太郎」4「かぐやひめ（竹取物語）」3「笠地蔵」2「さるかに合戦」2「舌切り雀」「たいとふぐ」「花咲かじいさん」2「桃太郎」3「ヤマタノオロチ」、「とりかへばや物語」、藤原道綱母「蜻蛉日記」、兼好法師「徒然草」、「三国志演義」、ギリシャ神話「イカロス」、イソップ「アリとキリギリス」「ウサギとカメ」「オオカミ少年」「狐と葡萄（すっぱい葡萄）」、グリム「白雪姫」「シンデレラ」、「三匹の子豚」「トム・ティット・トット」、「ハーメルンの笛吹き男」2、「フンプとノルブ」

絵本 こいでやすこ「おなべおなべにえたかな?」、富安陽子・高橋和枝「盆まねき」、なかえよしを・上野紀子「ねずみくんのチョッキ」、ゆきのゆみこ・上野与志・末崎茂樹「わんぱくだん」シリーズ、わかやまけん「しろくまちゃんとほっとけーき」

小説 茶川龍之介「蜘蛛の糸」、有川浩「明日の子供たち」、あんびるやすこ「魔法の庭ものがたり」、今江祥智「おしおのぼうけん」、上橋菜穂子「獣の奏者」、江橋照雄「手品師」、衣笠彰梧「ようこそ実力至上主義の教室へ」、京極夏彦「絡新婦の理」、椎名誠「アイスブラネット」、重松清「きみの友だち」、司馬遼太郎「関ヶ原」、住野よる「君の臍臓をたべたい」2「腹を割ったら血が出るだけさ」、瀬尾まいこ「そして、パトンは渡された」、知念実希人「優しい死神の飼ひ方」、新美南吉「ごんぎつね」、橋爪駿輝「それでも、ハッピーエンド」、はやみねかおる「都会のトム&ソーヤ」2、原田マハ「生きる僕ら」、東野圭吾「手紙」「容疑者Xの献身」、藤岡陽子「金の角持つ子どもたち」、星新一「おーいでてこーい」、宮下奈都「羊と鋼の森」、百田尚樹「永遠の0」、森絵都「カラフル」、夢野久作「ドグラマグラ」、米澤穂信「氷菓」、理不尽な孫の手「無職転生 ～異世界行ったら本気だす」、ジュール・ヴェルヌ「海底二万里」、ジョージ・オーウェル「1984」、ルイーザ・メイ・オルコット「若草物語」、サン＝テグジュペリ「星の王子さま」4、シートン「シートン動物記」、ポール・スチュワート&クリス・リデル「崖の国物語」、ドストエフスキー「罪と罰」、アルフ・プリョイセン「小さなスプーンおばさん」、J.K. ローリング「ハリーポッター」3

歌・劇 落語「時そば」「平林」「まんじゅうこわい」、いきものがかり「ラストシーン」、佐藤義美・大中恩「犬のおまわりさん」、ヨルシカ「エルマ」

ドラマ・映画 NHK「ちりとてちん」、白石和彌「死刑に至る病」、TBS「海に眠るダイヤモンド」、日本テレビ「地味にスゴイ!校閲ガール・河野悦子」、バカリズム「ブラッシュアップライフ」、フジテレビ「101回目のプロポーズ」、三谷幸喜「ザ・マジックアワー」、山崎貴「ゴジラ -1.0」、EVIL LINE RECORDS「ヒプノシスマイク-Division Rap Battle-」、ユン・ジェギョン「国際市場で逢いましょう」、M・ナイト・シャマラン「シックス・センス」、ナンシー・マイヤーズ「マイ・インターン」、ロジャー・ミッシェル「ノッティングヒルの恋人」、ジョージ・ルーカス「スター・ウォーズ」

マンガ・アニメ 葦原大介「ワールドトリガー」、あきやまただし「はなかつぱ」、荒木飛呂彦「ジョジョの奇妙な冒険」、諫山創「進撃の巨人」3、稲垣理一郎・Boichi「Dr. STONE」、井上雄彦「リアル」、虚淵玄「魔法少女まどか☆マギカ」、尾田栄一郎「ONE PIECE」4、KADOKAWAほか「ラブライブ!サンシャイン!!」、金城宗幸・ノ村優介「ブルーロック」、金城宗幸・藤村緋二「神さまの言うとおり」、桐丘さな「大正処女御伽話」、許斐剛「テニスの王子様」、近藤憲一「ダークギャザリング」、新海誠「すずめの戸締まり」、空知英秋「銀魂」3、高橋留美子「めぞん一刻」、富樫義博「HUNTER×HUNTER」3、長井龍雪「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」、西森博之「今日から俺は」、はまじあき「ぼっち・ざ・ろっく!」、原泰久「キングダム」2、はるき悦巳「じゃりん子チエ」、バンダイ「アイカツ!」、藤子不二雄「ドラえもん」2、細田守「バケモノの子」、MAPPA「ゾンビランドサガ」、まにお「きたない君がいちばんかわいい」、三香見サカ「薫る花は凜と咲く」、安田剛士「DAYS」、雪森寧々「久保さんは僕（モブ）を許さない」、レベルファイブ「妖怪ウォッチ」2、ディズニー「ピーター・パン」「美女と野獣」2、ステファン・ヒーレンバーグ「スポンジ・ボブ」

ゲーム クアンティック・ドリーム「Detroit Become Human」2、コーエー「太閤立志伝」、スクエア・エニックス「ドラゴンクエスト」、SEGA feat. HATSUNE MIKU Project「プロジェクトセカイ カラフルステージ! feat. 初音ミク」、任天堂「ゼルダの伝説」「ポケットモンスター」2、フロム・ソフトウェア「Bloodborne」、龍が如くスタジオ「龍が如く」2、1000-REKA「早咲きのくろゆり」、COGNOSPHERE PTE. LTD『崩壊：スターレイル』

【昔話】私のイチオシは「フンブとノルブ」という韓国の昔話。フンブとノルブという兄弟の両親が亡くなった後、意地悪なノルブは相続した財産を独り占めし、フンブには何も渡さずに追い出した。フンブは妻と二〇人の子供たちと貧しく暮らす。フンブがノルブの家に米をもらいに行っても、意地悪なノルブの妻はしゃもじでフンブを顔を叩いて追い返す。ある日、フンブはツバメが蛇に襲われているのを見つけ、蛇を追い払い、巣から落ちて足を折ってしまったツバメのヒナを治療してあげた。翌春、ツバメがひょうたんの種をフンブの家の前に落とした。その種をから育った瓢箪は大きな瓢箪を割ってみると、中から穀物や金銀財宝、大きな家まで出てきて、フンブは一気に裕福になった。この話を聞いたノルブは、家の軒先に巣を作ったツバメを見て、一羽をわざと捕まえて足を折った後に治療してあげた。翌春、ツバメはノルブの家に瓢箪の種を運んだ。その種から育った瓢箪から出てきたのは、泥棒、オバケ、汚物だった。泥棒やオバケはノルブの財産を奪い、ノルブは1日で貧乏になった。その後、優しいフンブがノルブを助け、ノルブは改心してフンブと仲良く暮らした、という話である。この物語から得られる教訓は、「善い行いをすれば幸せが訪れる」「成功の後も謙虚さを忘れない」であり、私もこの二つを大切にしている。

【古典】私のイチオシは「とりかへばや物語」。中学生のとき現代語訳されたものを読み、千年以上も昔にこんな現代にも通じる物語を書かれたという事実に驚いた。完全な男性社会で男に入れ替わった女性が申し上がる前半部分も好きだが、後半「姫君」が男として生きていく覚悟を決める瞬間も良い。

【小説】私のイチオシは東野圭吾「手紙」。強盗殺人犯の弟である主人公の元に、服役中の兄から手紙が届きます。兄が強盗殺人犯であるという事実が、進学、就職、恋愛、等々の場面で主人公の幸せを奪ってしまう…というストーリーです。中学生の時にこの本を読んだのですが、言葉が出ないくらいの衝撃を受けた記憶があります。その理由として思いつくのは、設定の斬新さ。加害者家族を描いた小説は少なく、また、現実でもあまり意識されない存在だと思えます。もう一つは、心情描写の克明さ。主人公の苦しみが痛いくらいに伝わってくる、なのに、主人公を苦しめる側も決して悪いとは思えない。強盗犯の兄すら完全悪とはいえない、自分でもそうしてしまうかもしれないと思ってしまう。それらの苦しみを踏まえた上で、ラストシーンが本当に鳥肌ものです。読み直したくなってきたので実家から持ってこようかと思えます。

【落語】私のイチオシの落語の「時そば」。明治中期の東京で作られた噺で、落語の代表的な演目として今も広く知られている。蕎麦屋でそばを食べて褒めちぎった後、支払いの際に時刻を聞いて会計をごまかす、という話を聞いたおっちょこちょいが、自分も同じようにやろうとするが、上手く褒められず、詐欺をするどころか損をしてしまう、という滑稽話。私自身、今年の冬に京都大学で行われる寄席で演じる予定である。

【アニメ】私のイチオシは『魔法少女まどか☆マギカ』。まどまぎの略称で専ら呼ばれる本作品だが、現代の魔法少女モノには鬱展開がつきものという風潮を作り出した作品である。女子中学生が送るハートフルな日常に急に敵（「魔女」とよばれる）が出現、少女たちが非日常的戦いに巻き込まれていく、いかにもな魔法少女モノが繰り広げられ、当初、オタクたちの間では「深夜のプリキュア」とまで呼ばれた。しかし第3話で評価は一変する。仲間の魔法少女の1人が魔女に惨殺されるのだ。それも女兒アニメのような規制のかかった、花になるとか光になって消えるとか、そんな生温かい死に方ではない。首チョンパである。こんな急展開のため、まどまぎを見たオタクたちは、どんなに面白くないアニメも、とりあえず3話までは見たりする。まどまぎはここからもどンドン鬱々しい展開が繰り広げられ、まさかの伏線やオープニングの隠されたメッセージなど、面白い要素がてんこ盛り。ぜひ一度まどまぎを見て欲しい。

【!】私のイチオシはYouTubeの2chまとめで見たアンパンマンの-spin-off。実はアンパンマンがバイキンマンをお金で雇っていて…という物語です。